

正善寺だより

発行第 91 号

もん ・ もん ・ もん

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成23年6月3日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

親鸞聖人750回大遠忌法要

2011（平成23）年4月9日より 厳修開始



親鸞聖人のご遺徳を偲び、大修復を終えた本願寺御影堂にて勤められる50年に一度のご勝縁、ぜひとも上山し御影の前にてお念仏申したいこととあります。4月、5月は終了いたしました。残るは9月、10月、11月とご正当の1月です。期日はいずれも9日から16日までの10日間、ぜひともご参拝いたしましょう。

御影堂の中は、4,000名が参列できるよう椅子席が準備されています。御前での法要儀式が見とれるよう、多くのモニターが設置しています。一日の中で、午前と午後に法要が勤まります。お勤めはこの度制定された「宗祖讃迎作法」をみんなでお勤めいたします。（御影堂内の様子）



御遠忌参拝させていただきました

4月の法要、小倉組の団体参拝旅行に参加、ありがたいご縁にあわせていただきました。当山の娘二人も駆けつけ一緒にお参りさせていただきました。



小倉組団体参拝旅行 後の申込は10月11月しか残っていません。早めの申込を！

お知らせ

この度、新総代さんに

神岳二丁目の**牛島正寛様**

が就任されました。正善寺の護寺発展のためご尽力いただきます。ご門徒の皆様どうぞよろしくお願いたします。

正善寺総代会名簿

責任総代・・・松口賢三
総代・・・山口勇
総代・・・東春男
総代・・・牛島正寛

かすみ草の会総会開催

本年度の総会が、5月28日(土)午前より開催されました。



午後からは、念珠作りに挑戦！マイ念珠の出来ばえは・・・でも嬉しいものです。

ご 案 内

永 代 経 法 要

と き 平成23年6月11日より12日まで

	11日(土)	12日(日)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分

講 師 当 山 住 職 自 勤

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

と き 平成23年6月12日(日)

	初 参 式
時 間	午前11時開式

◎初参式参加の皆さんへ

- ・家族お揃いで、30分前にご集合ください。手形の色紙作りをします。終了後、記念撮影を致します。

◎ 参加申し込みは、準備の都合により
6月8日(水)までにお寺へお知らせ
ください。お待ちしております。

法 要 準 備 会 お集まりください。
6月8日(水)10:00から15:00まで
納骨所もみんなで綺麗に致します。昼食有

小倉組仏教婦人会総会・研修会

6月27日(月)13:00より16:00頃まで
会 場 大手町 永 照 寺
講 師 未 定

小倉組仏教壮年会総会・研修会

6月7日(火) 18:00より
会 場 古船場町ホテルニュータガワ
講 師 安楽寺 仁保一正師
懇 親 会 19:15より

北豊教区仏教壮年会研修会

7月17日(日) 10:00より16:00頃まで
会 場 田川市にて開催予定
講 師 未 定

小倉組キッズキャンプのご案内

日時 7月23・24日(土・日)
会場 玄海青年の家を予定
参加案内は後日パンフ配布

行事ご案内 【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

盂蘭盆会(盆会)(うらぼんえ)

8月13・14・15日はお盆です。正しくは「盂蘭盆会」といいます。

お寺での特別の法要は致しませんがどうぞ自由にお参り下さい。納骨所利用の方はぜひおいで下さい。なお、お盆の門徒宅お参りは**8月初めより実施**しています。都合のある方、時間に制限のある方は、早めにお寺に申し込み連絡下さい。早めの期間であれば時間通りにお伺いができます。

平成23年夏のつと

と き 8月21日(日)16:00~17:00
と ころ 神岳保育園園庭
参加対象 自由
イベント 食品、手作りバザー各種
ゲーム大会
園児の盆踊り
園児の祇園太鼓披露
神岳保育園・父母の会主催

かすみ草の会出店参加

次回の法要のご案内

秋季彼岸法要

■ 平成23年 9月20日(火) (昼席) ・ 21日(水) (昼席)

【講師】 山口市小郡 蓮光寺 本願寺派布教使 岡本達美 師

編集後記

親鸞聖人750回大遠忌が京都の本願寺にて4月より始まりました。その4月の法要には、正善寺のご門徒様と、小倉組の法中様ご門徒の皆様総勢160名程でお参りに行きました。

全国から三千名の方々が一回の法要に参集され、ともにお念仏申させていただきました。広い広い御影堂がピーンと張り詰めた空気に包まれ、ご門主様、新門様がお言葉を述べられた時には各所から感涙の音が聞こえてくるようでした。私もお経の間、そっと横を見ると一緒にご縁にあってくださったご門徒の方々の顔、そっと横を見ると娘たちの顔、10年ほど前「この娘達が大学生となって、大遠忌と一緒に参りできたらうれしいな」と思っていたことを思い出し、あらためて今この時に感謝の気持ちでいっぱいになりました。親鸞聖人が亡くなられて750年の時を経ても、変わらない浄土真宗の心が脈々と何代にもわたって受け継がれ、今この時に生かされている方々とともに念仏できる喜び、三千名の方々が「南無阿弥陀仏」は「ありがとう」の慈しみの声を響かせて、そこには明るい光が照らされていることに改めて感動しました。

お念仏は暗いというイメージを持っておられる方もいるかもしれません。けれども念仏を称え、念仏を喜んで生きる人々にとって、念仏はいくつもの苦悩を喜びや楽しみに変え、生きる力になっているのです。法要には福島や新潟の方々もお参りにこられているということでした。悲しいこと辛いことは山のようにあるけれど、そこにはお念仏があります。どうぞご家庭でも「ナムアミダブツ」の声をみなさまで響かせてみませんか。

永代経法要 どうぞお参りくださいませ。心よりお待ちしております。 合 掌